

2 受療率

福島県の受療率（人口 10 万対）は、「入院」1,031、「外来」5,441 である。

(1) 性・年齢階級別

性別にみると、入院では「男」997、「女」1,065 となっており、外来では「男」4,963、「女」5,899 となっている。年齢階級別にみると、入院では、「5～14 歳」が 134 と最も低く、年齢階級が上がるに従い高くなっている。外来では、「15～24 歳」が 2,152 と最も低く、「0～4 歳」が 9,746 と最も高くなっている。（表 5）

表 5 性・年齢階級別にみた受療率（人口 10 万対）

平成24年10月

年齢階級	入 院			外 来		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	1 031	997	1 065	5 441	4 963	5 899
0 ～ 4歳	443	488	396	9 746	10 398	9 058
5 ～ 14	134	160	107	4 123	4 321	3 916
15 ～ 24	170	129	214	2 152	1 463	2 887
25 ～ 34	334	225	448	3 486	2 045	5 010
35 ～ 44	349	356	340	3 409	2 800	4 020
45 ～ 54	526	614	437	4 092	3 726	4 464
55 ～ 64	992	1 192	786	5 394	5 052	5 744
65 ～ 74	1 645	1 974	1 358	8 615	8 293	8 983
75 歳以上	3 405	3 402	3 387	9 127	10 124	8 497
(再 掲)						
65 歳以上	2 616	2 671	2 577	8 898	9 187	8 691
70 歳以上	2 964	3 012	2 932	9 201	9 933	8 726

注：1) 総数には、年齢不詳を含む。

2) 患者の住所地が福島県の者を集計対象とした。

3) 平成20年及び平成23年患者調査の数値は、22頁の参考表 6 に掲載している。

(2) 傷病分類別

傷病分類別にみると、入院では、高い順に「V 精神及び行動の障害」238、「IX 循環器系の疾患」169、「II 新生物」126となっている。外来では、「XI 消化器系の疾患」880、「IX 循環器系の疾患」721、「X 呼吸器系の疾患」709となっている。(表6、統計表)

表6 傷病分類別にみた受療率(人口10万対)

平成24年10月

傷 病 分 類		入 院	外 来
総 数		1 031	5 441
I	感染症及び寄生虫症	11	105
	結核 (再掲)	1	1
	ウイルス肝炎 (再掲)	1	13
II	新生物	126	185
	胃の悪性新生物 (再掲)	15	22
	結腸及び直腸の悪性新生物 (再掲)	16	20
	肝及び肝内胆管の悪性新生物 (再掲)	4	2
	気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	13	10
	乳房の悪性新生物 (再掲)	4	20
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	16
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	27	281
	糖尿病 (再掲)	17	153
	高脂血症 (再掲)	0	90
V	精神及び行動の障害	238	253
	血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	25	8
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	156	78
VI	神経系の疾患	83	134
	アルツハイマー病 (再掲)	32	24
VII	眼及び付属器の疾患	6	217
VIII	耳及び乳様突起の疾患	3	67
IX	循環器系の疾患	169	721
	高血圧性疾患 (再掲)	5	517
	心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	43	113
	脳血管疾患 (再掲)	110	59
X	呼吸器系の疾患	81	709
	喘息 (再掲)	4	167
X I	消化器系の疾患	62	880
	う蝕 (再掲)	0	186
	歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	-	277
	食道、胃及び十二指腸の疾患 (再掲)	8	89
	肝疾患 (再掲)	6	24
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	10	180
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	44	615
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	41	330
X V	妊娠、分娩及び産じょく	14	17
X VI	周産期に発生した病態	5	3
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	4	6
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	14	58
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	78	185
	骨折 (再掲)	52	56
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	9	478

注：1) 患者の住所地が福島県の者を集計対象とした。

2) 平成20年及び平成23年患者調査の数値は、23頁の参考表7に掲載している。